

政治資金残りあと

217,138円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	35,610円
印刷代（ビラ印刷代）	20,060円
交通費（駐車場、燃料代）	20,421円
携帯電話代	7,991円
寄付（ムツ様ほか様）	－30,000円
自己資金	－200,000円
合計 00/5/2～00/7/1	－181,528円

寄付は、さがみ信用金庫 大田・浦田出張所
普0051228 武松政策研究会 武松忠 まで！

市政を考える 月刊武松

発行日
00/7/3

第13号

たけまつ ただし
頒布責任者： 武松 忠
武松政策研究会

進むバリアフリー！？

車椅子でもホームまで行くことができるように

6月定例議会が開催されました。

6月は、補正予算金額も1億4261万円と少なく、主に障害福祉施設整備の助成と臨時特例借換債（借金の借換）でした。

また、公益事業協会、土地開発公社等外郭団体の経営状況報告がされました。中でも公益事業協会の栄町駐車場（ツインパーク）は、6200万円の赤字で2つのタワーのうち1つは休止中と中心市街地空洞化の一端を示していました。

一般質問は、11名が行いました。私の発言通告書は次のとおりです。

＜質問順 1 5番 武松 忠＞

1 駅周辺のバリアフリー対応について

- (1) 小田原駅東西自由連絡通路について
- (2) 他の駅について
- (3) 中心市街地の個店に対する支援について

2 市のホームページの活用について

- (1) ホームページの更新期間について
- (2) 申請書類の取得、審議会等議事録等の公開について

市長答弁は、東西自由連絡通路のエレベータについては、東西出口とも20人乗り、改札からホーム間は、11人乗りとのことで既存のホームにエレベータを取り付けることの困難さを感じました。

鴨宮駅のエスカレータ設置の対応については、引き続きJRと協議を行うとのことでした。

中心市街地の個店への支援については、既に多くの施策が始まっているとのことでした。私は、色々な施策を系統立てて、自由連絡通路の完成に合わせ、再度詰めなおす必要性を訴えました。

ホームページの活用については、スポーツ課の施設予約表は、パソコンから予約できるように検討中。申請書類の取得は、既に一部始めており、審議会等議事録で一般公開しているものは順次公開していくとのことでした。

小田原市のホームページのヒット数は、昨年度月平均40万件、今年3月60万件、5月84万件とものすごい数にのぼっています。私のホームページの閲覧者数は、5ヶ月で1000件でした。

*ヒット数：開かれたページの総和で、1人が5ページ見れば5ヒットで、閲覧者数とは異なる。

常任委員会副委員長？

今年は、福祉文教常任委員会副委員長に任命されました。以前にも書きましたが、小田原市議会には、常任委員会が4つ設置されています。

■総務民生常任委員会

行政・財政・管財契約・市民交流・戸籍住民等

■経済厚生常任委員会

商工・農政・観光・病院・競輪等

■都市建設常任委員会

都市整備・道路・公園・建築等

■福祉文教常任委員会

福祉（高齢・児童・障害）教育・文化財等

常任委員会の議事進行は、次のとおりです。

議案説明 ⇒ 質疑 ⇒ 審議 ⇒ 採決

質疑は、説明に対し、法的裏付け、現状等を行政側に委員がたずねるものです。

審議は、基本的に会派の考えを述べ合います。

質疑・審議の際、委員長は、発言することが出来ません。（司会進行に徹します。）副委員長は、他の委員の発言が終わった後に発言が許されます。（答弁漏れの確認や司会の補佐を行います。）

委員会の開催前に、正副打合せがあり、提出議案の説明と進行手順の打合せを行います。その際、想定質問を考え必要と思われる資料を予め用意させます。この資料で委員会の進行が決定しますので責任重大です

The Voice 今までに頂いたご意見から

ちょっと気になる表記が…

元小田原在住

30代 男性

いつも、拝読させて頂いております。

ところで、「月刊武松」12号で、ちょっと気になる表記を見つけたのでご連絡させていただきます。それは、「お知らせ」の中にある、河野洋平議員の応援理由です。「東西自由連絡通路に～」とありますが、この言葉をそのまま解釈すると、「地元への利益誘導を実現したから」とも受け取れます。

私の浅薄な考えですが、国会議員は、「国のために何をしたか」で評価・支持されるべきであって、議員の地元への利益誘導で評価・支持されるべきではない、と考えています。とはいえ、小田原のために頑張ってくれた業績を評価に値しない、というのは、いかにも寒いのですが、新潟には、「（役にも立たない）公共事業が地場産業」というエリアもあるそうで、（極端な例だと思いますが）そういう実態からすると、何となく腑に落ちない気がします。

もちろん、そういう実態のない公共事業と実効の期待できる東西自由通路を一緒にするなという考えもありますが。もしかしら私同様に、地元への利益誘導の公共事業への評価と認識して嫌悪感をもたれる方もいるかもしれないなあ、と思いメールさせて頂きました。（同様6通）

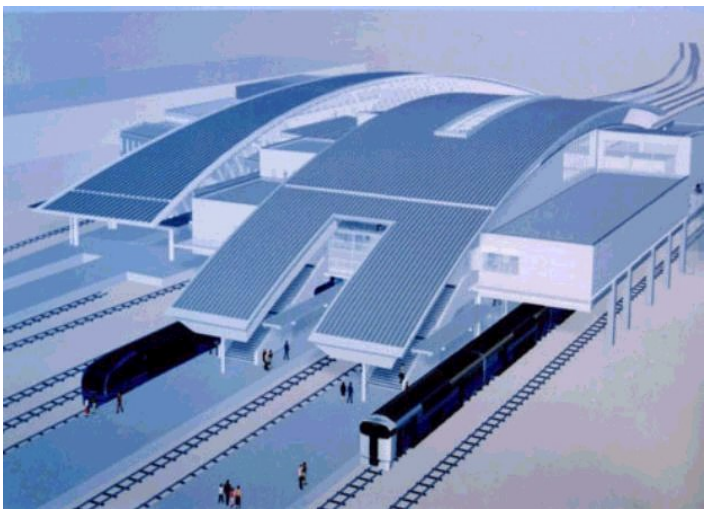
私は、小田原駅東西自由連絡通路が、中心市街地活性化のカギとなる施設であると考えています。当初の倍以上の支援を実現した職員、小沢市長、県議、国会議員を評価し、自分が誰を応援しているか表明しました。

東西自由連絡通路の必要性についてですが、東西連絡のメリットは、殆どありません。お金を掛ける必要があるのは、**完全バリアフリー対応にすること**なのです。

車椅子の人が、一人（降車時以外、付き添い無し）で、ホームから、ロータリーまで行くことができる設計になっています。

そして、付き添い無しで、ロータリーに出た車椅子の人は、店に入ろうとしますが、段差があって入れません。バスにも乗れません。となると、商店街のバリアフリー化、超低床バスの導入などを進めなくてはなりません。東西自由連絡通路は、バリアフリーに対応する起爆材となるわけです。

西口再開発については、10年20年の期間が、必要になります。東西との交流のメリットが出てくるのは、20年にかかるかもしれませんが、当面はバリアフリー対応が、最も重要で、かつ今投資をすべき時期にあるものと考えています。（武松）



武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

どなたでもお気軽に参加下さい。

テーマ：「教育の現状と課題」

講師：小田原市教育長 江島紘氏（前酒匂小校長）

日時：7月15日（土） 18：00～20：00 定員30名

場所：小田原駅前ふらっとスポット 第1会議室（丸井裏）

参加費：100円 出欠席の連絡は、不要です。当日、直接現地にきて下さい。

終了後、懇親会（実費3000円程度）を行います。教育長も参加します。



後援会設立準備中！？

現在、仮称武松忠後援会の設立準備中です。（今まで後援会がありませんでした。）年会費2000円程度を考えていますのでよろしくお願いいたします。